

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
昭和村	①学校運営上の課題	02 放課後等における多様な体験活動	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後子ども教室という、安心安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちにスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動などの機会を提供しているが、協働活動サポーターの人数の減少により、実施回数や協働活動支援員の体力的・心理的な負担の増加が課題となっている。	・現サポーターから紹介して頂き、活動の見学から参加してもらい、サポーターの登録に至った。 ・学期ごとに発行しているおたよりで募集をかけた。	・地域学校協働活動推進員の委嘱を行い、学校運営協議会とも連携することで、関係者のつながりを広げ、新たな人材を発掘していく。	・サポーターの人数の増加により、事業の実施が安定する。 ・見守りの目が増えるため、子どもたちがより安全に活動できる。 ・協力者の輪を広げ、地域で地域の子どもの守り育てという住民意識が向上する。	・サポーターの人数の増加により、事業の実施が安定する。	27	人	30	25	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・今年度は加齢や体調等を心配して辞めるサポーターが多かったが、新規のサポーターが追加となり、大幅な減少にはならなかった。また、サポーターによる紹介制度は効果が見られた。 ・来年度からは地域学校協働活動推進員の委嘱を行うことで、学校運営協議会の機能を活性化し、現状のつながりを大切にしながら、新たな人材の確保にも努めていく。